

対象	小学校高学年以上
教科	社会科
該当 単元	〈小学5年〉 「わたしたちの 生活と工業生産」 ・自動車をつくる工業 〈中学地理〉 「中京工業地帯と 東海工業地域」
教科書	東京書籍・教育出版等
掲載日	2014.6.17. 朝刊12版 7面

PHV人気の三菱自・岡崎工場



天井からのつり下げをやめ、車両も横向きに変えた三菱自動車名古屋製作所岡崎工場の組み立てライン＝愛知県岡崎市で

ライン効率化1割増産へ

三菱自動車は十六日、「新世代化」と銘打って改修を進めている名古屋製作所岡崎工場（愛知県岡崎市）の一部を報道陣に公開した。ラインの流れを効率化し、来年五月の完了時には生産コストを三割下げられる。人気のプラグインハイブリッド車「アウトランダーPHEV」の増産にも対応し、工場全体の生産能力は一割増の年間二十三万台となる。（太田鉄弥）

大きな変更は、天井からラインの変更は難しかったの車両のつり下げをやめた点。ローラーで少しずつ動くパネル板が、ベルトコンベヤーの役割を果たす。これまでは天井レールなど大掛かりな設備が必要で

ラインの変更は難しかったが、パネルの枚数を増やしたり減らしたりするだけで生産能力を調節できる。縦向きに流していた車両も横向きに変え、ラインの長さ

は短くなった。従業員の歩

く距離を減らせた。スペースに余裕ができ、ラインの外に運び出して作業していたアウトランダーPHEVへの電池パックの取り付けも、ライン内で可能になった。

岡崎工場は一九七七年に操業を開始。ラインの改修は昨年末に着手し、これまでに三分の一が完了。来年五月に残りを終える。投資額は四十五億円という。現在、生産している三車種のうち、アウトランダーPHEVはフル生産の状態が続いている。環境車に優遇税制のあるオランダをはじめ欧州で人気が高く、二〇一三年度は三万台を生産。一四年度は五万台を見込む。

名古屋製作所長の安藤剛史常務執行役員は「国内でものづくりのレベルを上げ、海外工場の競争力を高めたい」と話し、岡崎工場の効率化の取り組みを国内外の他の工場にも広げていく方針を明らかにした。

問1：記事の中の「ライン」とは、自動車工場の中の「組み立てライン」のことです。

【 】から言葉を選び文章を完成させましょう。【作業・正確・速さ】

一定の()で進むラインの上で、()を分担することで、()に自動車が組み立てられる仕組み。

問2：三菱自動車名古屋製作所岡崎工場が「新世代化」として改修した大きな変更点は何でしょう。

()から ()にした。

問3：改修による良い点を3つ書きましょう。

パネルの枚数調整で()。

ラインの長さが短くなったので()。

スペースに余裕ができたので()。